



公益社団法人

日本語教育学会

2018 年度秋季大会 支部活動委員会企画 「交流ひろば」「地域発信企画」開催報告

主催：公益社団法人日本語教育学会

開催日：2018 年 11 月 24 日（土）「交流ひろば」・25 日（日）「地域発信企画」

会場：静岡県・プラサ ヴェルデ（秋季大会会場）

昨年の新潟県に続き 2018 年度秋季大会でも開催地の静岡県において、支部活動委員会が「交流ひろば」、「地域発信企画」の企画、運営を行いました。両企画とも前回以上に多くの方にご出展・ご参加いただきありがとうございました。次回 2019 年度は島根県松江市にて開催予定です。

「交流ひろば」

昨年度に引き続き秋季大会 2 回目の「交流ひろば」が、プラサ ヴェルデのコンベンションホール B ホワイエを会場として開催されました。前半 90 分(13 時 45 分～15 時 15 分)と後半 90 分(15 時 30 分～17 時)に、それぞれ 13 のブースが合計 26 件出展されました。これは昨年度の出展数の 2 倍にあたることから、本企画の認知度が高まり、秋季大会においても軌道に乗ってきたのではないかと考えられます。出展の形態も、ポスターの掲示のみならず、パソコンやタブレットを利用したり、使用教材を展示したり、地図を広げてソフトを使用してもらったりとバラエティーに富んだものとなりました。

また、今年度は特に、出展者と参加者、あるいは参加者同士の交流を高めるために、さまざまな工夫を凝らしているケースが見られました。「交流ひろば」は発表応募とは異なり、同一テーマで複数回の出展が可能です。複数回出展して下さっているケースもありました。今後も、出展者と参加者が情報・意見交換やネットワーク作りを目的として、活発なやりとりが行われることを期待しています。

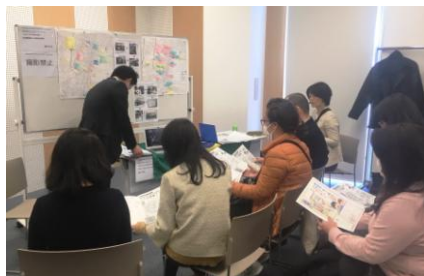


熱心に話に聞き入る参加者

(報告者 中島祥子)

「地域発信企画 in 静岡 地域に根ざした安心・安全な町づくりのための取り組み」

本年秋季大会で 2 回目となる「地域発信企画」が、4 階小会議室 403 と 404-1 で開催されました。静岡地域の 6 つのグループから、さまざまな団体との連携による活動紹介や実践紹介などがポスター、資料、動画、実物などを通して紹介されました。それぞれ 3 つのブースに分かれて、前半と後半（各 35 分）で行われましたが、どこのブースも大変多くの方々（100 名程度）にご参加いただき、参加者からは、連携の方法や外国人への呼びかけの方法など、様々な質問が出され、活発な意見交換が行われました。地域の取り組みを知ることが、「安心・安全な町づくり」につながることを発信者と参加者の相互が確信できた場となりました。



時間帯によっては座れないほど盛況に

(報告者 川口直巳・林朝子)